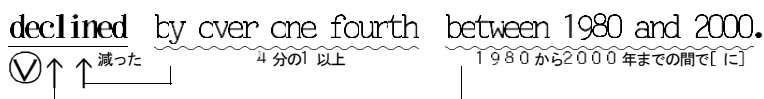
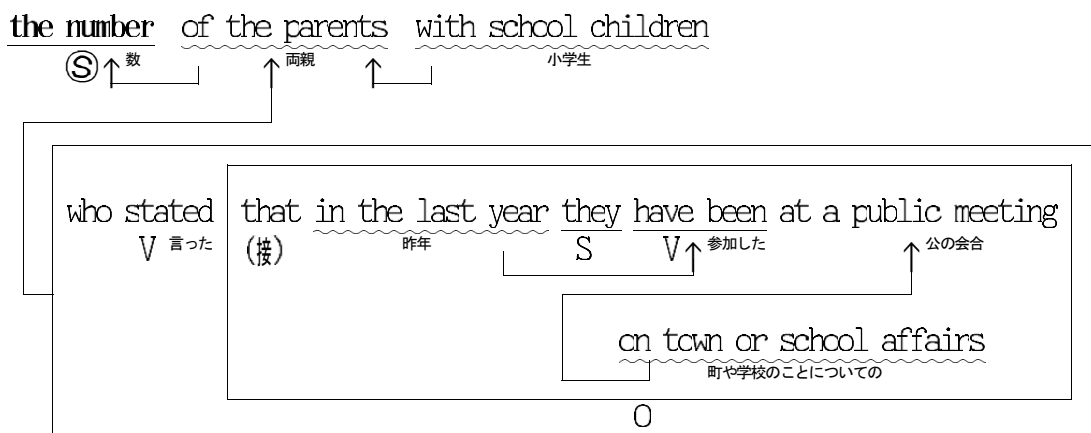


1. According to a recent survey of public opinion, the number of the parents with school children who stated that in the last year they have been at a public meeting on town or school affairs declined by over one fourth between 1980 and 2000.

《語句》 according to A: Aによれば survey of public opinion: 世論調査
 public: 公の、公的な affair: 事、問題
 over: ~以上 = more than

【解答&解説】

according to a recent survey of public opinion は前置詞句です。つまり文の骨組みは the number からとなります。そしてこの英文もS(主語)とV(動詞)の間に挿入された前置詞句や関係詞節をうまく()でくることができれば、骨組みがグッと浮かび上がってきます。以下が骨組み部分の構造分析図です。



()でくくるべき関係詞節は who ~ affairs まででした。本問は関係詞節内に、(stated の目的語となる)that節というもう1つの節があったことが分析を難しくさせていましたね。who から数えて2つ目の動詞とは declined だったのです。そしてこの declinedこそが、文の骨組みとなるV(動詞)だったのです。

「節の初めから数えて2つ目の動詞だから(stated が1つ目で)2つ目は have

been。したがって who で始まる関係詞節は have been の手前で終わっている」
などと考えるはいけません。節内にまた別の節が存在する場合、その別の節内の動詞を、(動詞を)数える際の数に入れてはいけません。注意してください。

📖 LESSON BOOK REVIEW Rule-4 2. を参照せよ。

それから stated については that節を目的語に取っていますね。ここは「言う」と訳せばいいでしょう。

📖 LESSON BOOK REVIEW Rule-21 2.(1) を参照せよ。

また本問では one forth という分数が使われています。いい機会なので分数の表し方を学びましょう。分数は、「分子」を基数(one, two, three...)で、「分母」を序数(third, fourth, fifth...)で表します。

(ex) $1/3 \rightarrow$ one[a] third

$2/3 \rightarrow$ two thirds 📖 分子が2以上になる場合は、分母に複数のsが付くことに注意。

$1/4 \rightarrow$ one fourth 📖 a quarterでもいい。

$3/4 \rightarrow$ three fourths 📖 three quartersでもいい。

問題文の全訳はこのようになります。

「最近の世論調査によれば、前年に町や学校の事に関する公的な集まりに参加したと言う小学生を持つ両親の数は、1980年から2000年の間に4分の1以上減った」

2. Arguing that Japan should grant foreign residents local suffrage just because South Korea allows its foreign residents to vote is beside the point.

《語句》 argue that S+V~:~だと主張する
grant O₁ O₂:O₁にO₂を与える
foreign residents:永住外国人
local suffrage:地方参政権
just because S+V~:単に~というだけ(の理由)で
allow O to do[願]~:Oが~するのを許す
vote:投票する
beside the point[mark]:的外れな(の)

【解答&解説】

本問は文頭に Arguing という、いわゆる「~ing形」が来ています。このような構造を読み解くルールが **LESSON BOOK REVIEW Rule-58** にあります。こんなルールでした。

①Doing~で始まる句の直後に「④」があれば、その Doing~ を⑤と判断し「~すること」と訳す。

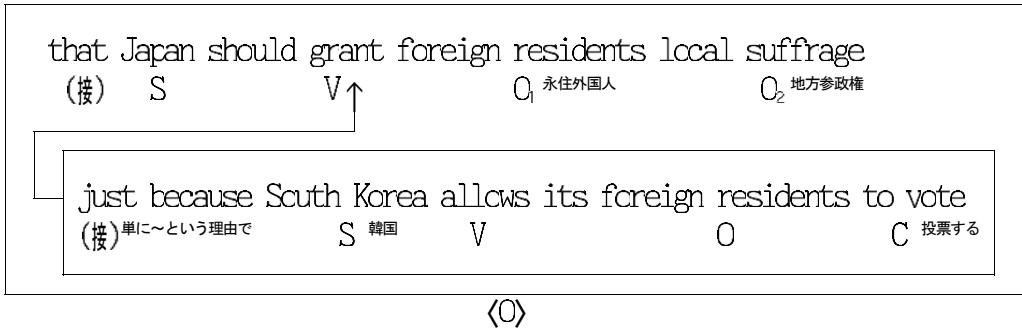
②Doing~で始まる句の直後に「⑤+④(主節)」があれば、それは副詞句。分詞構文と見る。「時」「理由」「条件」「譲歩」のどれかで訳せることが多い。

さて今回はどちらのパターンだったかつかめましたか？

実は今回は①のパターンでした。構造分析図を示してみましよう。

Arguing

㊦



is beside the point.

㊦ 的外れな(の)

まず Arguing の目的語となっている that 節 の終わりを調べるのです。節の始め (that) から数えて 2 つ目の動詞を探します。前問と同じ要領で、that 節内に存在する just because 節内の動詞 (allows) は飛ばします。すると、is が見えてくるわけです。そしてこの 2 個目の動詞の is が文の骨組みを作る V (動詞) だったのです。そうすると全体はこんな訳になります。

「韓国が外国人永住者に投票を認めているという理由だけで、日本も外国人永住者に地方参政権を与えるべきだと主張することは的外れである」

㊦ Arguing も that 節を目的語に取っている。「主張する」と分からなくても「言う」でも文意は通じる。

最後に grant についてですが、この grant は S V O₁ O₂ を取っています。

㊦ 動詞の後ろに種類(内容)の異なる 2 つの名詞が並んでいる場合、その構文は S V O₁ O₂ と見ていいんだ。確かに「foreign residents ≠ local suffrage」である。

それがわかれば LESSON BOOK REVIEW Rule-22 が使えました。こんなルールでしたね。

「S V O₁ O₂」を作る動詞は、基本的に「S は O₁ に O₂ を与える」という意味になる

このルールさえ知っていれば、grant を初めて見た人でも「外国人永住者に投票を与える」と訳せてしまえたのです。

それから allow O to do [彫] ~ についても LESSON BOOK REVIEW Rule-23 3. にこうあります。

「SVO (to) do[原形]～」型や「SVO into doing～」型は、「SはOが～する方向に仕向ける」と訳してもいい。

このルールを知っていれば、allow ~ vote は「外国人永住者が投票する(できる)方向に仕向けて(いる)」で訳せてしまえたのです。未知語の類推法は、これら以外も **LESSON BOOK REVIEW** に数多く載っていますから、本番に向けてぜひマスターしておきたいですね。

④ 「S+V+O+(to)+do[原形]～」型の類推法のルールについては、以下のような例外となる(つまり「～する方向に仕向ける」型ではない)動詞がある。ただこれら数少ない例外を除いて幅広く使えるルールなので、しっかり自分のものにしよう。

① expect O to do[原形]～ 「Oが～することを期待(予想)する」

(ex) I expect him to come on Friday. 私は金曜日に彼が来ると思っている

② 知覚動詞 O do[原形]～ 「Oが～するのを見る[聞く、感じる等]」

③ forbid O to do[原形]～ 「Oが～するのを禁じる」

(ex) I forbid him to go there. 私は彼にそこに行くのを禁じている

④ promise O to do[原形]～ 「Oに～することを約束する」

(ex) I promise you not to tell this secret to anyone else.

私は他の誰にもこの秘密を話さないと約束します

④ このto tell～の意味上の主語は、目的語のyouではなく、主語のI。したがって以下のように書き換えられる。

I promise you that I'll not tell this secret to anyone else.

⑤ trust O to do[原形]～ 「Oが～すると信じる」

(ex) I will trust you to do your best. 君が最善を尽くすものと信じよう

④ trust O to do[原形]～には、「Oを信用させて～させる」という意味もある。その意味の場合は「～する方向に仕向ける」型になる。

(ex) You can trust her to go alone.

彼女を信用して1人で行かせてもいいよ

3. For many living in the developed countries, overseas travel is not a luxury to enjoy any longer.

《語句》 developed nations:先進国 luxury:贅沢(なこと)
not ~ any longer:もはや~ない
=no longer

【解答&解説】

大まかな文構造はすぐとらえられたのではないのでしょうか。overseas travel がS (主語)、is がV(動詞)、a luxury がC(補語)の第二文型(SVC)です。主節よりも左側にあるものは(倒置などを除き)副詞の働きしかしない。つまり基本的に文の主要素にはならない(LESSON BOOK REVIEW Rule-5)ので、For ~ countries までは、副詞句と判断できます。

主節とは、(従位)接続詞・関係詞・疑問詞等が先頭についていない(裸の)S+Vのこと。

さて次に訳出ですが、For という前置詞の後に続くべき名詞はどれでしょうか？ many でしょうか？ それとも living でしょうか？ ただ many が名詞を修飾する場合、その名詞は複数形になるはずで、many が(s のついていない)living を修飾していると見るのはやはり変ですね。

実は LESSON BOOK REVIEW Rule-55 3.にはこう書いてあります。

many, few, some, any, each, all等や、数詞、分数等の後ろにpeople(又はthing(s))が省略されていることがある。

本問はこれに基づき、many は many people のことを指していると判断します。そして living ~ countries は many (people) を修飾する形容詞句だったのです。

For many (people) living in the developed countries,//
(前) (名) ↑ _____ 先進国

overseas travel is not a luxury to enjoy any longer.
⑤ 海外旅行 ⑥ C ↑ 贅沢 _____

a luxury to enjoy は、直訳は「楽しむための贅沢(なこと)」ですが「贅沢な楽しみ」と意識すればいいでしょう。そうすると問題文全体の訳はこのようになります。

「先進国で暮らす多くの人にとって、海外旅行はもはやぜいたくな楽しみではない」

4. Through no fault of his own, and through the nature of the duty, Bart ended up putting himself right in the middle of the dispute.

《語句》 fault:過失、落ち度

of one's own:自分自身の

the nature:性質

duty:任務

end up doing~:~する羽目になる、結局~することになる

right+時・場所:まさに、ちょうど、真(ま)

dispute:もめごと

【解答&解説】

前問と同じルールから、主節(Bart ended~)よりも左側にある Through~duty は副詞句だとわかります。

まず主節部分の訳をしてみましょう。ここは語句さえわかれば問題ないと思います。

Bart ended up putting himself right in the middle of the dispute.

バートはもめごとの中心(ど真ん中)に自らの身を置く羽目になってしまった

問題なのは Through~duty 部分です。

Through no fault of his own, and through the nature of the duty

「彼自身の全くない過失を通して、そしてその任務の性質を通して」ではチンプンカンプン(*´д`)=3。ではどうすればいい日本語になるのでしょうか。

実は LESSON BOOK REVIEW Rule-70 にこんな説明がありました。

副詞の働きをする語句や節は、以下の訳のどれかにおさまることが多い(このうち①~④の意味になることが最も多い)。

- ①「時(〜とき、ながら、と共に)」
- ②「条件(もし〜なら)」
- ③「原因・手段(〜ので・〜により・〜のおかげで)」
- ④「譲歩(〜けれど、としても)」
- ⑤「比例(〜につれて、と共に)」
- ⑥「目的(〜するために)」
- ⑦「様態(〜のように)」
- ⑧その他(「場所(〜の場所で・に)」「制限(〜に関する限り)・程度」「比較(〜より・〜と比べて)」「添加(〜に加えて)」等))

このルールを利用して本問では

Through no fault of his own

の部分を「譲歩」としてとらえ、「彼自身には何の落ち度もなかったにもかかわらず」とまとめ、

through the nature of the duty

の部分を「原因」としてとらえ、「その任務の性質の故に」とまとめるといいのです。
and は逆接的に2つの前置詞句をつないでいます。

④この and は、and yet の yet の省略と見ればいい。 **LESSON BOOK REVIEW**

Rule-15 1. を参照せよ。

そうすると全体はこんなふうになります。

「彼自身には過失は一切なかったのだが、その任務の性質の故に、バートはもめごとの中心に自らの身を置く羽目になってしまった」

形[構造]と機能、形[構造]と意味

1.形[構造]と機能

英語は(倒置などの特殊な構文を除いて)、まず最初に必要な文の主要素は「S(主語)」、そしてその次に必要なのは「V(動詞)」です。

◎そしてS+V、つまり「主節」よりも左側にあるものは基本的に副詞で文の主要素にはならないんだ。

たとえば cause は「原因」という意味の名詞ですが、この cause が英文中で2つ目の主要素、つまり「V(動詞)」の位置に入ると「原因となる → 引き起こす」という意味になります。これは cause に元々「引き起こす」という意味があったというよりも、その(2つ目の主要素の)位置に入ったから、そのような(「引き起こす」という)意味になっただけと見ることもできます。そうしてみると英語は形[構造]で機能が決定される言語と言えるでしょう。同じような例をいくつかあげてみましょう。

(ex) He googled the book's title and found that site.

彼はその本のタイトルをググってそのサイトを見つけた

◎google が動詞として「グーグルで検索する」という意味で使われている。

The police photographed the scene of the disaster area.

警察は被災地の写真を撮った

◎photograph が動詞として「写真を撮る」という意味で使われている。

このような例からも、英語がいかに関「形[構造]」優先の言語であるかがわかります。ある語がその位置に入れば、その置かれた位置によってその語の品詞(や意味さえ)も変わってしまうのが英語なのです(品詞や意味は「形」の後で決まる、あるいは後からついてくるものと考えてもいい)。

2.形[構造]と意味

ボクは「スマートリーディング LESSON BOOK」でこう書きました。

…(英語は)まず「形[型]」ありきで、「形[型]」が意味を規定します。英語には助詞はありませんが、その代わりに(語順に基づく)文型[構文]という、文の意味を決定するための仕組み(システム)が存在している。そしてその結果、助詞を使わなくても文中での語句(品詞)の順番と文全体の型[構造]に着目することで、その語句(品詞)の働きと文全体の意味が判断できるようになっている…

つまり、形[構造]が、その語の機能だけでなく、意味まで規定するというのです。そしてこれを未知語類推法としてルール化したのが **LESSON BOOK REVIEW Rule-18~26** です。特に59ページからの「特別講義」は、「スマートリーディング」には載っていない(もちろん他のどの参考書にも載っていない、初めて明かされる)内容です。ぜひ読み込んでマスターして下さい。1,000 を超える語彙力に匹敵する未知語類推力を、最小限のルールで身につけることが可能になります。

愈さらに動画でこの内容を学びたいという人には、「学びエイド」というサイト内で「最新・最強！英単語マスター法『形からの意味類推編』」という講座をアップしている。よかったら試聴してみるといいだろう。

5. With only ten days before her birthday, the last place Betty wanted to be was in the hospital recovering from surgery.

《語句》 surgery:(外科)手術

【解答&解説】

主節部分(the last以降)の意味ですが、the last place Betty wanted to be は「ベティがいたいと思う一番最後の場所 → ベティが最もいたくない場所」となります。

reccvering~は文章後半の分詞構文。文章後半の分詞構文は「そして～」 「～しながら」と訳すのが基本。

📖LESSON BOOK REVIEW Rule-37 3. を参照せよ。

ここは「～しながら」、つまり「外科手術(の後)の回復を待ちながら」とでも意識すればいいでしょう。

問題は With ~ birthday 部分です。With+A(名詞), ㊸+㊹... となる構文の with +A(名詞)は、(直訳すれば)「A(という事実・原因・条件・言動など)と一緒にある」ということですが、主節よりも左側にありますから先程のルールが使えますね。本問の With ~ birthday 部分は、主節との意味関係から考えて「原因」(又は「時」)と見るといいでしょう。そうすると全体はこのような訳になるわけです。

「誕生日までたったあと10日しかなかったので[10日しかないという状況の中]、手術の回復を待ちながら病院にいるなんてベティは最悪だった」

📖主節部分の直訳は「ベティが最もいたくない場所は、手術の回復を待ちながら病院にいること(=入院生活)だった」。

最後に、副詞の訳し方の中は「時(同時)」 「原因・手段」 「条件」 「譲歩」が最も多いと言いましたが、with+A(名詞)でその例を挙げてみましょう。

①【時(同時)】

(ex) With a wave of her hand, she went away.

手を振って(振りながら)彼女は立ち去った

With that last remark, she turned and left.

その最後の言葉を言うと、彼女はくるりと向きを変えて立ち去った
With the advance of science, we are better off than before.
科学の進歩と共に(につれて)、暮らしは以前より楽になった

②【原因・手段】

(ex) With her permission, he went out. 彼女の許可を得て彼は出かけた
With his knowledge of English, he could tour around the world with no difficulty.
英語を知っていたので彼は世界中を不自由なく旅をすることができた
With all this noise, I couldn't study.
このように騒がしかったので勉強できなかった
With the rise in prices, goods are selling more slowly.
物価上昇で商品の売れ行きは更に鈍い

③【条件】

(ex) With cleanliness, any barn would do.
きれいであればどんな納屋だって構わない
With your leave, I'll shut this window.
よろしければこの窓を閉めましょう

④【譲歩】

(ex) With a few exceptions, his works are excellent.
いくつかの例外はあるものの彼の作品はすばらしい
With all her faults, I love her still.
彼女には欠点があるが、やはり彼女が好きだ
會上例は **with all A** で「**Aにも関わらず**」というイディオム。

ただ with に関しては、「**～にとっては**」「**～に関しては**」という with が文頭に飛び出した英文もあるので注意は必要です。

(ex) With some people, Religion is essential.
ある人たちにとっては、宗教はなくてはならないものだ

6. It is said that how many turbulence a flight meets with depends on whether the storm is intensifying or weakening.

《語句》 turbulence:乱気流 intensify:強まる
 flight:飛行機(の便) weaken:弱まる
 storm:嵐

【解答&解説】

骨組みは It is ~ that S+V~ の仮主語構文です。It is said that S+V~ ですから「~と言われている」とまとめればいいでしょう。said くらいなら簡単なものなのですが、もっと難しい過去分詞(p.p.)が使われていた場合には、LESSON BOOK REVIEW Rule-25 3. が使えます。覚えておくといいですね。こんなルールでした。

「It is + p.p.+ that S+V~」という仮主語構文の意味はたいてい以下の3種類であることが多い。

- ① 「~だと言われている・報じられている」
- ② 「~だと思われる(ている)・みなされる[ている]」
- ③ 「~だと示される[ている]」

さて次に that節内ですが、
LESSON BOOK REVIEW Rule-56 に

how が導く節(つまり how節)は、

- ①文の主要素(S・O・C)
- ②前置詞・準動詞の目的語

のいずれかになる。

とあります。本問では how節が節頭にありますから、howが(that節内の)S(主語)になっていると見ます。how節の終わりの見極め方はもう大丈夫ですね。節頭から数えて2つ目の動詞である depends の直前で how節は終わっています。そして depends が(that節内の)V(動詞)です。whether節は cn の目的語になっています。

how many turbulence a flight meets with

乱気流

S 飛行機 V

depends on whether ~.

V

S

how の訳し方ですが、同じく **Rule-56** に、

- ①how 単独の場合 ⇒ ①「どのように(な)〇〇か」「どうやって〇〇か」
②「〇〇の仕方、やり方、様子、(あり)様、実際[状]」
「(…である)ということ(の次第)」
③「どうして」「なぜ」

- ②how が直後の「形容詞」「副詞」を修飾する場合 ⇒「どれほど(の)〇〇か」
「どれくらい(の)〇〇か」

とあります。本問は how が直後の many を修飾していますから②、つまり「どれくらい(の)」と訳せばいいでしょう。

次に(「～に頼る、依存している」という意味でおなじみの) depend on について。この depend on の(読解用の)うまい訳し方として、以下の5つを覚えておくといいでしょう。

- ①「Aに左右される」 ④「Aにかかっている」
②「Aで決まる」 ⑤「A次第だ」
③「Aによる」

本問は①～③のいずれかの訳し方を使うとよかったですよ。

そして whether の訳出法ですが **LESSON BOOK REVIEW Rule-17** に、whether節が前置詞の後ろに置かれている場合には「～かどうか」と訳すといことが載っていました。本問の whether節は on の後ろに置かれてその目的語になっています。したがって「～かどうか」と訳せばいいわけです。

最後に is intensifying or weakening という進行形の訳出について。Part I で進行形は大きく分けて以下の3つの意味になりうるとありましたね。。

- ①「～している(最中だ)」という非完結的な継続
②「～しつつある」という完結に向けての進行
③「繰り返し～している」という反復

本問は②ととらえ、「強まりつつある、あるいは弱まりつつある」と訳せばいいです

よう。

そうすると全体の訳はこんなふうになります。

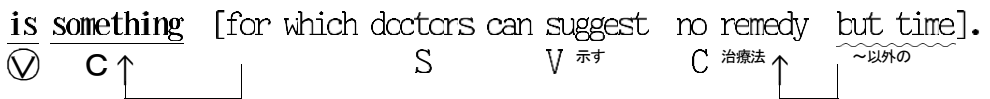
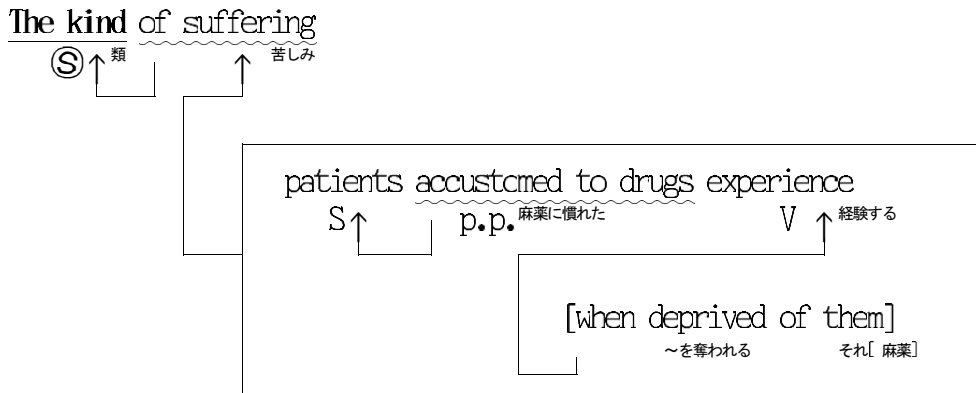
「飛行機がどれくらいの(数の)乱気流に遭遇するかは、その嵐が強まりつつあるのか弱まりつつあるのかによって決まると言われている」

7. The kind of suffering patients accustomed to drugs experience when deprived of them is something for which doctors can suggest no remedy but time.

- 《語句》 suffering: 苦しみ
 patient: 患者
 be accustomed to A: Aに慣れている
 deprive A(人) of B(物・事): AからBを奪う
 remedy for A: Aの治療法
 but A: A以外に、Aを除いて

【解答&解説】

今回はまず全体構造を図で示してみましょう。



④ p.p. は「過去分詞」のこと。

構造分析図を見てわかるように、本問は第二文型(SVC)です。patients ~ them までの(目的格の which[that] の省略された)関係詞節を()でくくれたかどうかポイントでした。

和訳を作る際も、この関係詞節部分の訳出は難しかったのではないのでしょうか。問題は accustomed は過去分詞(の後置修飾)であり、節内のV(動詞)は experience

だというのが見えたかどうかです。これを見極めるには **LESSON BOOK REVIEW Rule-10** が必要です。こんなルールでしたね。

①見極め方その(1)

その語が元々他動詞であるなら、後ろに目的語があるはず（他動詞は目的語がなければ存在できない）。したがって、本来他動詞であるべきはずの「～ed」が、後ろに目的語をとっていないなら、それは過去分詞であると判断する。

②見極め方その(2)

1. 「1つの節に動詞は1つだけ」

2. 「同じ節内に

(1)助動詞(+V[原形])/ have[had]+p.p.～

(2)be動詞

(3)一般動詞の現在時制

のいずれかがあったらそれがその節内の動詞だと判断せよ」

③見極め方その(3)

後ろに受け身を表わす by があれば、それは過去分詞だと判断する。

本問はこのうちの②を使って読み解けました。つまりこの (patients ~ them の)節内には experience という現在時制の一般動詞が見つかります。そこからこの experience が節内の動詞(ということはS (patients)とV(experience)の間にはさまれた accustomed to drugs は、Sを後置修飾する過去分詞句ではないか)と判断するわけです。

もう1つ when deprived of them が理解できたでしょうか。実は when と derivedの間には the patients are という「主語+be動詞」が省略されています。

☞これがわかるには **LESSON BOOK REVIEW Rule-53** が必要。

この **Rule-53** を利用し、節内の主節の主語である the patients と are という be動詞が when の直後に省かれていることを見抜かなければなりませんでした。

もうひとつ難しかったのは「～以外に」という(前置詞の) but でした。but は前に no, any, all, every などがあるとこのような意味になることがあるのです。

そうすると全体はこんなふうな訳になります。

「麻薬に慣れた患者がそれ[麻薬]を取り上げられた時に経験する不快感のようなもの[類]は、時間以外にいかなる治療法も医師は提示することができないものだ」

最後に良い機会なので、but についてまとめてみましょう。

1.等位接続詞の but。

①「しかし、でも」

(ex) He is young but wise. 彼は若いが賢い

②[not A but B]「AではなくてB」

(ex) A bat is not a bird but a mammal. コウモリは鳥でなくほ乳動物だ

③[not only A but also B]「AだけでなくBもまた」

(ex) My son not only does not work but also will not find a job.

息子働かないだけでなく、仕事を探そうともしない

2.従属接続詞の but。

①[否定語(neverなど)～+but S+V…]「～すれば必ず…する」

=never～ without doing…

(ex) I never see this picture but I remember your father.

=I never see this picture without remembering your father.

私はこの写真を見ると必ず君のお父さんを思い出す。

It never rains but it pours. ☔ ことわざ。

降れば土砂降り → 二度あることは三度ある、泣きっ面にハチ

②「～を除いて、～以外」

(ex) No one but she[her] would do such a thing.

彼女以外はだれもそんなことをしないだろう

☞ her とすると but は前置詞。

3.前置詞の but。

意味は「～を除いて」「～以外に」「～の他は」で except や save で言い換えられる。

① [every, any, no(およびその合成語)や all, none, who, what, whereなどの後で用いて]

(ex) She ate nothing but bread and butter.

彼女はバターを塗ったパン以外何も食べなかった

He thinks of nothing but making money.

彼は金もうけのことしか考えない

Everyone but me[1] was tired. 私以外はみな疲れていた

②[first, last, next の後で] 「～を含まないで」

(ex) (the) last but one 最後から2番目

He lives next door but one. 彼は1軒おいて隣に住んでいる

③[原形・to不定詞を伴って] 「～を除いて、～以外に、～の他は」

(ex) She did nothing but complain. 彼女は不平ばかり言っていた

=All she did was (to) complain.

We have no choice but to go. 我々は行くより仕方がない

=We cannot choose but (to) go.

I cannot (help) but laugh. 笑わずにはいられない

=I cannot help laughing.

4.関係代名詞の but。

否定語の付いた名詞を先行詞として取り、「～しないところの」という意味になる。

※慣用的な言い回し以外では、用例は限られる。

(ex) There is no rule but has some exception. 例外のない規則はない

=There is no rule that does not have some exception.

=Every rule has some exception.

There is not one of us but wishes to succeed.

成功を望まない人は誰一人としていない

5.副詞の but。

①「ほんの～、ただ」 =only

(ex) He is but a child. 彼はほんの子供です

If I could but see him. 彼に会えさえしたらなあ

②[canと共に] 「ただ～しか(できない)」

(ex) I can but wait. 私はただ待つだけだ

6.but を用いた慣用表現。

① but for A

=without A

(1) 「(今)もしAがなかったら」 =If it were not for A

=Were it not for A

- (2) 「(あの時)もしAがなかったならば」 =If it had not been for A
=Had it not been for A

(ex) But for the thick trees, the bitter wind would blow the house to pieces.

深い木立がなければ家は激しい風に吹きとばされてばらばらになるだろう

- ② cannot (help) but do[原形]～ 「～せざるにいられない」 =cannot help doing～

(ex) I cannot (help) but smoke. たばこを吸わずにはいられない

- ③ have no choice but to do[原形]～ 「～せざるをえない」

「～するしか(選択の余地がない)」

=There is nothing for it but to do[原形]～

(ex) I have no choice but to finish this work. この仕事をやり終えるしかない

=There is nothing for it but to finish this work.

- ④ anything but～ 「決して～ない、まったく～ない」 =not ～ at all

(ex) My wife is anything but a good cook. 私の妻は料理がまるきりへたです

- ⑤ nothing but

(1) [nothing but A(名)] 「Aにすぎない、ただAだけ」

(ex) He is nothing but a child. 彼はほんの子供にすぎない

He drank nothing but water. 彼は水ばかり飲んでいて

(2) [do nothing but do[原形]～] 「～ばかりしている」

(ex) He did nothing but cry. 彼は泣いてばかりいた

8. The atomic bomb transformed Hiroshima into scorched earth in an instant.

《語句》 in an instant:一瞬にして、瞬く間に

【解答&解説】

この英文は、とある学生が質問で持ってきたものでした。

「先生、この英文の主語は The atomic bomb で、動詞は transformed、で、Hiroshima がOってのは理解できます。その後の into scorched earth と in an instant という前置詞句は、副詞句として transformed を修飾している、つまりM(修飾語句)なんですよね、で、訳は…よくわかんないんですけど(*_*)」

確かに構造は完璧にとれてます。でも訳せないんじゃ意味ないですよね。この英文はこう考えたらいいのです。

①transform A into B という構造になっていることに気づく。

②「動詞+A into B」型の動詞の意味は大きく分けて2つ。つまり

1.AをBに変える

2.AをBの中に入れる = 動詞+A in B

📖LESSON BOOK REVIEW Rule-26 6. を参照せよ。

本問は1.のタイプと判断し「原爆は広島を scorched earth に変えた」という骨組みを、まず読み取る。

③scorched は earth を修飾する形容詞と見ることができる。形容詞の60%は「good型」「bad型」で分類できる。

📖LESSON BOOK REVIEW Rule-68 を参照せよ。

ここでは(文脈から)bad型と判断し、scorched earth は「ひどい地」「悲惨な地」とでも訳してみる。

④in an instant は「一瞬に(して)」というイディオム。

そうすると全体は「原爆は広島を一瞬にして悲惨な地に変えてしまった」と訳せてしまうわけです。実際には scorched は「焦土の」「焼き尽くされた」という意味なの

ですが、辞書が使えない本番では上記の考え方が大いに役立つことは明白ですね
(「(爆弾によって)焼き尽くされた」土地は、たしかに「悲惨」な土地だ)。

9. Upon the ability of each individual to learn to live in harmony with others depends the future of human beings and the world.

- 《語句》 the ability of A to do[彫]~: Aが~できる能力(こと)
 each individual: 一人一人、個々(の人間)
 learn to do[彫]~: ~することができるようになる
 live in harmony with A: Aと調和して暮らす

【解答&解説】

Part I の1.の解説でも言ったように、「前置詞+名詞」は基本的に文の主要素(S・O・C)になりません。文の主要素になれるのは、基本的に(前置詞の付いていない裸の)名詞(とその仲間)ですね。

そうすると、Upon~others までにそのような(裸の)名詞は見つからないことが分かります。

① upon は on とほぼ同じ意味の前置詞。

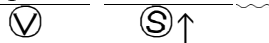
もちろんその後の depends は動詞にしかありませんから、これがこの英文のV(動詞)と見ていいでしょう。

するとその depends の後ろに the future (of human beings and the world)という、(裸の)名詞が現れます。実はこれこそがこの英文のS(主語)だったのです(主語が future と3人称単数の名詞だから depends と、depend に3単現の s が付いていたのですね)。

Upon the ability of each individual to learn to live in harmony with others



depends the future of human beings and the world.



この英文はいわゆる(M+V+Sの)倒置構文で、元の(S+V~の)語順に戻してあげれば、以下のようなになるわけです。

① LESSON BOOK REVIEW Rule-39 を参照せよ。

⇒ The future of human beings and the world depends upon the ability

㊸ ↑

㊹



of each individual to learn to live in harmony with others.

こう書き直してみると、文頭にあった Upon は

depend upon[on] A: Aに依存している

からきていたのだと分かります。

文末の others についてですが、LESSON BOOK REVIEW Rule-55 2. に、英文中の others の可能性は以下の2つだとあります。

- ① [other people] の代用。「他(の)人」と訳す。
- ② [other+既出の複数名詞] の代用。

本問の others は①、つまり「他(の)人(たち)」と訳せばよかったですでしょう。

結果として全体はこんな訳になります。depend の訳出については、6.の解説を参照してみてください。

「人類と世界の将来は、個々の人間が他(の)人(たち)と調和して暮らしていけるようになれることにかかっている」

10. That global-scale disaster will occur within the lifetimes of people already born seems to me to be evident.

《語句》 disaster:災害

evident:明らかな、明白な

【解答&解説】

問題は全体の文構造です。またそれに関連して文頭の That をどう考えるかです。文頭に置かれる That の可能性としては以下が考えられます。

①指示代名詞の that が主語として用いられている。

(ex) That is our house.

あれがうちの家です

②指示代名詞の that が形容詞的に直後の名詞を修飾している。

(ex) That dress will suit you.

あのドレスは君に似合うよ

③接続詞の that が導くいわゆる that節が文頭で主語になっている。

☞that が接続詞の場合、直後には「完全な文」が続くのが特徴。

(ex) That you dislike him is understandable.

君が彼を嫌いだというのは理解できる

本問の That はこのうちのどれなのでしょう。もうわかりましたね。③の That です。③のパターンの場合、全体構造は以下のようになります。

That+完全な文 + ④ ~.
⑤

そこで次に④を探しますが、これはもう大丈夫ですね。節のはじめ(つまり文頭の That)から動詞の数を数え、2つ目の動詞を探します。1つ目の動詞は will occur、そして2つ目の動詞が seems。これがこの英文の動詞です。That節は born までで、That~born がS(主語)、(to be) evident がC(補語)の第二文型(SVC)だとわかります。

副詞の though は要注意。

皆さん、接続詞の though はよく知っていますね。

- ① Though S+V~, S+V...
- ② S+V~, though S+V...

という形で用い「~けれど」「~としても」という意味になります。

(ex) Though he had no money, he wanted to buy the suit.

=He wanted to buy the suit, though he had no money.

彼は金もないのに(金はなかったが)、そのスーツが買いたかった

though にはこれ以外に「副詞」としての用法もあります。

副詞の though の(文中における)形としての特徴は以下の通りです。

- ① though が文中で前後をカンマで区切られ、単独で用いられる

~, though, ~

- ② あるいは文末でカンマで区切られ、単独で用いられる

S+V~, though.

このような though を英文中で見かけたら、それは副詞ですから「~けれど」「~としても」等と訳してはいけません

Ⓜ although にはこのような副詞としての用法はない(あくまで接続詞として用いる)。

では、副詞の though はどのような意味になるのでしょうか。

実は副詞の though は「しかしながら」「にもかかわらず」という意味で、however, と同じ意味なのです。

Ⓜ 会話等では、疑問文の後ろで「本当に」という意味になることもある。

(ex) Did you meet her, though? 本当に彼女に会ったの?

それから however は、直後をカンマ(やピリオド)で区切らなければ「しかしながら」という意味にはならないので注意。

例をいくつかあげてみましょう。

(ex) I missed the bus. Jim gave me a ride, though.

私はバスに乗り遅れた。でもジムが車に乗せてくれた

It's true, though, for all that. でも、やっぱりそれは本当なんだ

He didn't want to tell us the truth ; he did, though.

彼は我々に真実を話したがらなかった。でも結局は話してくれた

④did は代動詞で told us the truth を指している。

The most important point, though, is to understand the importance of returning to the basis.

しかしながら、重要なことは基本に戻ることの大切さを理解することだ

however, との違いは、副詞の though は文頭では使えないという点です (必ず文中・文末で用いる)。

(ex) However[×Though], he changed his mind. しかし彼は考えを変えた

I see. However[×Though], I will do it in my own way.

わかりました。しかし私は私なりのやり方でやります

意味・論理を読み取ろうとする場合のもう一つの注意点として、though を含めいわゆる「論理接続の副詞(「論理マーカー」とも言う)」は、たとえ文中盤・末尾にある場合でも必ず文頭に移動させて、その直前の英文との論理を考えるようにすることです。

下の英文でも、though を文頭に移動させ、直前の Jim's ~ golf. の英文と though を含む文が逆接[対比]の論理[関係]になっていることを意識しなくてははいけません。

(ex) Jim's father liked playing golf. Jim, though, didn't come to like it.



Jim's father liked playing golf. However, Jim didn't come to like it.

ジムの父はゴルフが好きだった。しかしジムは好きになれなかった

④実際には though は文頭には置けないので、however, に直して移動させてみる。

「論理マーカー」とは?

論理マーカーとは、前後をある種の論理で結びつける語句のことです。

☞discourse marker とも呼ばれる。

論理マーカーは品詞としては「接続詞」「副詞」「前置詞(句)」等があります。一番おなじみの論理マーカーと言えば however, for example, そして therefore あたりでしょうか。

however は「しかしながら」という意味で、前後を「逆接[対比]」の論理[関係]で結びつけます。

(ex) She believed the story; however, her husband didn't believe it.

彼女はその話を信じた。しかしながら、夫はそれを信じなかった

上の英文でも however の前後は「信じる」「信じない」と、逆の(対比的な)関係になっています。

for example は「例えば」という意味で、前後を「抽象とその具体例」のイコール関係で結びつけます。

(ex) There are a lot of domestic animals on the farm; for example, cows, horses and pigs.

その農場には多くの家畜がいる。たとえば乳牛、馬、豚などだ

上の英文でも for example 以降は、(その農場の)家畜の具体例であり、両者は(内容的に)イコール関係ですね。

therefore は「それ故」「だから」という意味で、前後を「原因と結果」の(論理)関係で結びつけます。

(ex) I've never been to The U.S.; therefore I don't know much about it.

アメリカへは1度も行ったことがない。だからよく知りません

上の英文でも therefore の前後は「原因と結果」の関係になっているのがわかります。

この「論理マーカー」についての正確な知識は、英文読解をする上で非常に大きな助けになってくれます。「学びエイド」サイト内の「[基礎からわかる英文読解入門講座](#)」という講座(のLESSON14)で、この論理マーカーについて詳しく解説しています。と論理マーカーについての知識をきちんと整理すれば、今後の英文読解に大いに役立てることができるでしょう。